

建設業

しんこう



No.
510

建設産業の
今を伝え未来を考える

7・8

Jul./Aug. 2019



特集

建設労働者緊急育成支援事業の実施状況
事業の概要・実績と訓練卒業生等のインタビューご紹介



一般財団法人
建設業振興基金

GET

ゲット

求人企業の皆様へ!
職業訓練修了者を
紹介します!

求人企業は
登録無料
訓練修了生の採用の
**手数料も
不要**

国が5カ年計画で“建設業の人材確保・育成”を実施!

建設技能労働者の確保・育成対策の一つとして、**離転職者、新卒者、未就職卒業者等**のうち、建設業での就業を希望している方を全国で募集し、必要な**職業訓練(座学・実技講習+資格取得)**を**無料**で実施した上で、建設業への就職支援を実施しています。



基礎的な技能や資格を
職業訓練で取得しているので、
一からの教育が不要



ベテランの職人が講師となり
基礎技能の習得(座学・実習)



建設現場でニーズの高い資格を取得

本事業の職業訓練修了者とのマッチングを希望される場合

ホームページGETで、求人情報の登録

<http://www.kensetsu-kikin.or.jp/kunren/get>

求人情報として求職者へ提供

登録した
求人情報を
掲載



求人企業の
所在地企業情報、
雇用条件など
随時更新

求職者には、専用WEBサイトを通じて、求人企業の
情報を開示します。求職者が求人企業への就職を
希望した場合は、求人企業まで連絡します。

これまで**1,904人**
(訓練修了者のうち74.6%)
が建設会社等へ就職

求職者の情報も公開



採用を
希望する求職者の
受付番号を
ご連絡ください

職業訓練修了者の内、求職者の一部情報(年齢、希望勤務地、希望職種、受講コース、保有資格)をWEBへ掲載しています。求人企業が求職者に興味・関心を持った場合は、受付番号をお問合せください。求職者とのマッチングを行います。



求職者の
年齢、希望勤務地
希望職種、
受講コース、
保有資格を
随時更新!!

建設企業への就職を目指しているので
就職後のミスマッチも軽減

採用に関するお問合せ先

(一財) 建設業振興基金 03-5473-4589

2019年度は、全国23拠点で100コース以上の職業訓練を開催予定。1年間で1,000人の訓練生を募集しています。

委託者: 厚生労働省
受託者: 一般財団法人建設業振興基金

求人登録・お申込みは
事業ホームページへ

建設業 ゲット

検索

<http://www.kensetsu-kikin.or.jp/kunren/get>



特集

厚生労働省 平成30年度 建設労働者緊急育成 支援事業の実施状況

～事業の概要・実績と

訓練卒業生等のインタビューご紹介～

- 事業の概要・実績・実施体制
- 訓練卒業生のその後
- 就職支援!企業説明会の開催

FOCUS

工業高校紹介

広島県立府中東高等学校 08

- インタビュー：小笠原 雅成 先生

PRESCRIPTION

日本経済の動向 10

- 地域銀行の「地域商社化」

建設経済の動向 11

- 公共投資額が4年ぶりに好転

連載 働き方改革と若者の
定着の実践に向けて 12

- 【第4話】
働いて楽しい職場環境をつくる
コミュニケーション

連載 かわいい土木【第23回】 14

- 桃介橋 / 長野県木曽郡南木曽町

しんこうTODAY 16

..... 02



いつでもチェック!!

建設業
しんこうWeb

建設産業の今を伝え
未来を考える

『建設業しんこう』は
Webでも
ご覧いただけます。



しんこうWeb

検索

<https://www.shinko-web.jp/>



メルマガ登録は
コチラから!



『建設業しんこう』に関するご意見・ご要望

TEL：03-5473-4584 (企画広報部)

MAIL：kikaku@kensetsu-kikin.or.jp

印刷：日経印刷株式会社

©本誌記事の無断転載を固く禁じます。

厚生労働省 平成30年度 建設労働者緊急育成支援事業の 実施状況

～事業の概要・実績と訓練卒業生等のインタビューご紹介～

一般財団法人 建設業振興基金

はじめに(事業の概要・実績) 令和元年度が最終年度

建設産業における担い手の確保・育成が喫緊の課題となっている中、厚生労働省では、離転職者、新卒者、未就職卒業者等を募集して、当面担い手不足が著しい野丁場の躯体系職種(型枠・鉄筋・とび等)を中心に訓練し、各種資格を取得させた上で、就職を支援する「建設労働者緊急育成支援事業」を平成27年度から5年間の時限措置(令和元年度まで)として実施しています。(一財)建設業振興基金(以下、「基金」という。)では、本事業の開始年度である平成27年度から5年連続して受託。総合建設業団体、専門工事業団体、職業訓練校等の協

力を得て、30年度は全国に24の地方拠点等を設置、中央拠点(基金)と併せて25拠点において、それぞれの拠点が「訓練生の募集→職業訓練→就職支援」までのパッケージ業務を実施しました。30年度、職業訓練修了生は854名で、このうち就職が決まったのは672名(27年度から累計2,687名)、厚生労働省が求めている訓練修了後3ヶ月以内の就職も73.5%の628名となり、年間目標(訓練修了生の70%)を上回りました。詳細は以下の通りです。

令和元年度分

30年度と同じ目標を掲げて展開、訓練参加者の内、500名以上は躯体系職種

事業予算 約9億円

- 目標:訓練参加者1,000名、訓練修了生:訓練参加者の90%、就職者:訓練修了生の70%
- ※元年度分も基金が受託

平成30年度分

訓練参加者数は目標を下回るも、就職率は目標を上回る実績

事業予算 約9億円

- 目標:訓練参加者1,000名、訓練修了生:訓練参加者の90%、就職者:訓練修了生の70%
- 実績:訓練参加者 881名、訓練修了生 854名(修了率96.9%)、就職者数 672名(内、訓練修了後3ヶ月以内に就職した者628名73.5%)

平成28年度分

いずれも目標を上回る実績

事業予算 約9億円

- 目標:訓練参加者1,000名、訓練修了生:訓練参加者の60%、就職者:訓練修了生の70%
- 実績:訓練参加者1,031名、訓練修了生988名(修了率95.8%)、就職者数 782名(内、訓練修了後3ヶ月以内に就職した者754名76.3%)

平成29年度分

いずれも目標を上回る実績

事業予算 約9億円

- 目標:訓練参加者1,000名、訓練修了生:訓練参加者の90%、就職者:訓練修了生の70%
- 実績:訓練参加者1,060名、訓練修了生1,024名(修了率96.6%)、就職者数814名(内、訓練修了後3ヶ月以内に就職した者764名74.6%)

平成27年度分

目標をほぼ達成

事業予算 約6億円

- 目標:訓練参加者600名、訓練修了生:訓練参加者の60%、就職者:訓練修了生の70%
- 実績:訓練参加者556名、訓練修了生539名(修了率96.9%)、就職者数 419名(内、訓練修了後3ヶ月以内に就職した者386名71.6%)

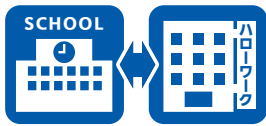
事業の実施体制 (28年度より訓練参加者拡大:年間1000名目標、令和元年度は24拠点体制で実施)

本事業は、全国各地において、離転職者等の建設業への入職を促進するため、**基金に中央拠点を設置するとともに、地域の総合建設業団体、専門工事業団体等の協力を得て地方拠点等を設置(令和元年度23ヵ所)**し、求職者の「募集・職業訓練・就職支援」をパッケージにして実施しています。

職業訓練の受講者は次のとおり費用負担無く訓練に参加できる制度となっています。①建設業で必要とされる基礎的な知識・技能の習得、②必要な資格取得、③訓練中の食事を除く宿泊費、④訓練施設までの往復旅費・通学費が**不要です**。また、⑤訓練後、希望する企業への就職も支援いたします。

令和元年度事業の実施体制(中央拠点・地方拠点の連携イメージ)

訓練生の募集



- 中央拠点では、地方拠点と連携の上、求職者を募集するため以下のような広報等を実施。
 - ・ハローワークとの連携による募集、特に人材確保対策コーナーを設けている全国の94ヵ所を重点的に緊密な情報交換を図り、建設業関連の資料や動画などを提供
 - ・広報機関誌「WelCOME!」を作成し、全国のハローワークへ郵送
 - ・ポスター、チラシ等の配布
 - ・ホームページ、新聞、フリーペーパー、テレビ・ラジオCM等による情報の発信
- 地方拠点では、建設業団体と連携の上、ハローワークへの協力依頼、効果的な広報等を実施。

職業訓練の実施



- 中央拠点では、平成30年度は、富士教育訓練センター(静岡)、キャタピラー教習所(千葉、静岡)、高度ポリテクセンター(千葉)等において、重機オペレーター、躯体や内装系技能者等の職業訓練をオーダーメイドにより14コース実施。
- 地方拠点では、地域にある既存の職業訓練校へ委託する方法や、地元の公共職業訓練施設等を借りて訓練を実施。
- 令和元年度は、全国で110コース、躯体(とび、鉄筋、型枠等)・仕上げ・重機オペレーター等の分野で実施を予定。

就職支援



- 地方拠点設置団体をはじめ、基金が連携している建設産業団体の会員企業を主な対象として就職支援を実施。訓練期間中に、訓練見学会、会社説明会、合同就職面接会等を開催。
- ハローワーク等との連携強化により、建設業への入職を希望する方には、可能な限り企業とのマッチングに努める。ハローワークの相談員等の方々に訓練視察会を実施し本事業への理解に努める他、訓練生には就職面談時にハローワークへの求職登録を勧奨。

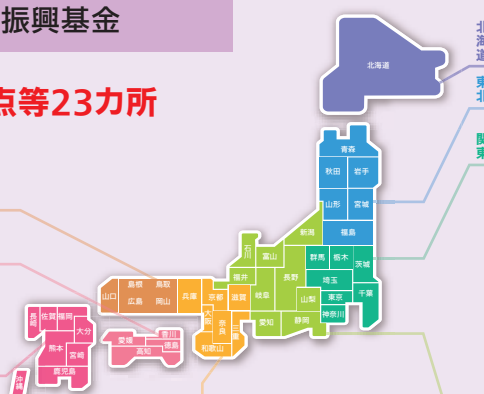
令和元年度 中央・地方拠点等実施体制図

【中央拠点】(一財)建設業振興基金

中央拠点1カ所／地方拠点等23カ所

【地方拠点】

- 中国
- 四国
- 九州・沖縄
- 広島県(職)広島建設アカデミー
 - 香川県(一社)職人育成塾
 - 高知県(一社)高知県建設業協会
 - 福岡県(一社)福岡県建設専門工事業団体連合会
 - 長崎県 長崎県建設産業団体連合会
 - 宮崎県(一社)宮崎県建築業協会
 - 沖縄県(一社)沖縄産業開発青年協会
 - 鹿児島県(一社)鹿児島県建設業協会



- 近畿
- 北陸・中部
- 兵庫県(一社)兵庫県建設業協会
 - 兵庫県 豊岡建設技術者養成センター
 - 兵庫県 三田建設技能研修センター
 - 大阪府 建設産業専門団体近畿地区連合会

- 北海道
- 東北
- 関東
- 北海道(一社)北海道建設業協会
 - 宮城県(一財)みやぎ建設総合センター
 - 東京都(一社)全国基礎工事業団体連合会
 - 東京都(一社)日本機械土工協会
 - 東京都 建設産業専門団体関東地区連合会
 - 神奈川県(一社)神奈川県建設業協会
 - 神奈川県(一社)全国クレーン建設業協会神奈川支部
 - 石川県 石川県造園業協同組合
 - 愛知県 建設産業専門団体中部地区連合会
 - 愛知県(一社)全国クレーン建設業協会愛知支部
 - 愛知県(一社)全国タイル業協会

訓練卒業生のその後

職探しに訪れたハローワークで建設労働者緊急育成支援事業を知り、現場で必要となる資格が無料で取得できる訓練に参加した名古屋出身の林 寿之さん(34)。(現在は、一連の工事において、職種間の作業を繋ぎ、現場作業を円滑に進める業務を担う専門会社に就職して2年近くが経過します。)高校卒業後、製造業の工場に就職し、職場を変えながらも契約社員として10年以上にわたり、ものづくりの最前線に携わってきました。訓練を経て、建設現場で日々奮闘している林さんの今を取材してきました。

PROFILE

所属会社：ITワークス株式会社
入 職：2017年11月13日
職 種：とび・土工
氏 名：林 寿之
保有資格：足場の特別教育、高所作業車運転技能、
小型移動式クレーン運転技能など

現在の林さんの仕事

林さんが2017年11月に就職したのは、1934年設立のとび・土工の専門工事会社の老舗、(株)伊藤工業(名古屋港区)から分離、独立したばかりの会社ITワークス(株)(同)です。

ITワークスは、躯体・仕上など各専門職種が手掛ける施工の間をつなぎ、スムーズに現場が運営されるよう業務を補完をする仕事を専門とする会社です。コンクリート打設時や足場を解体する時に周囲が汚れないようシートをかぶせるなどの養生や、重たい資機材の運搬、玉掛作業時の無線での指示に至るまで多岐に渡ります。作業の流れを理解していないとできない仕事です。

製造業から建設業の道へ

最後の契約期間が到来した後、職探しに出向いたハローワークで建設労働者緊急育成支援事業の拠点担当者から、現場に必要ないくつかの資格が無料で取得でき、就職先も支援してもらえる訓練があると聞きました。それまで建設業は「筋肉質な男の職場」と、体の細い自分には全く別の世界と思っていましたが、ぐっ



と近い存在に見え始めました。

製造業で携わってきたものづくりが建設業でも行える。国の支援を受けて建設業に就職するスタートラインに立てるこの事業に挑戦したいと思っていた時

に、妻も「行ってみれば」と背中を押してくれました。

ただ、ちょうど良いタイミングで名古屋を中心に行われる訓練がなかったため、同様の訓練が行われる「第1回建設ものづくりコース(建設総合)in広島」(2017年10月23日～11月6日)に参加することを決め、名古屋から広島に向向きました。

その訓練で足場の特別教育、高所作業車の運転、小型移動式クレーンの運転技能といった資格を取得することができ、製造業時代に取得していたフォークリフト運転技能を含め、建設現場の作業で最低限必要な資格を手にすることができました。わずか2週間という短い期間の訓練でしたが、ほかの参加者から経験談を交えた話を聞くことができたのも、これから建設業で働く上でのイメージを膨らませることに役立ちました。

現場をよく見て判断する力が求められる

ITワークスに就職してから、短期の仕事も含めていくつもの現場に従事してきましたが、今の清掃工場の建設現場は最も長く従事しています。この現場では、日々200人ほどが働いているので他の職種と錯綜しないよう、早めの作業で段取りを付けておくことが重要です。そのためにも他の職種より2時間早く仕事を始めています。朝6時半から作業を始め、毎日現場の朝礼が始まる8時が最初の休憩時間になるといった具合です。

日々意識していることは、現場をよく見て判断することです。職種と職種の間をつなぐ仕事ですから、今現場で何が起きているかを常に見ておき、とっさの判断にも対応する力が求められます。このあたりは、ルールが確立してラインに沿って流れ作業で進んでいく製造工場と最も大きく異なる点でした。

また、現場で何より優先しなければならないのは「安全」です。現場の状況から危険と考えられる作業を洗い出しておき、対応しなければなりません。他の職種の人の流れを見ながら、常に先取りし



て次の職種につないでいけるように段取るなど、今の仕事は観察力がなければ務まらないと認識しています。

これから建設の仕事をする覚悟

建設業に入職し間もなく2年になりますが、一人前と呼ばれるようになるまでには、まだまだ時間がかかりそうです。日々の仕事でも、指示された内容がうまく飲み込めず、取りまとめ役のとびの職長に出来具合を確認してもらおうと、改善の余地が多く残っていることも少なくありません。そんな時は「物の見方がたりなかった」と反省し、次の作業に生かせるよう心掛けています。それでも1人で作業を任せられ、うまくいって職長からもOKが出たときなどは素直にうれしいです。

他の職種との関わりも多い仕事のため、コミュニケーションが重要となります。休憩時間に集まってくる喫煙所での会話の中から、どんなことをしてほしいかなど、要望をしっかりと聞き出し、今後の作業に生かしていくことが大事なことだと思っています。

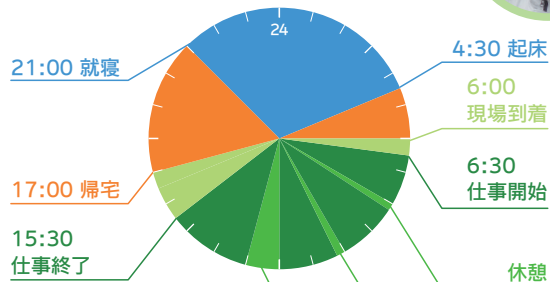
日々変わっていく建設現場は自分にとってつらい仕事だと感じることもあります。どんな場面であっても対応できるよう経験に裏打ちされた対応力を身に付け、スキルアップしていきたいと思っています。そして先輩社員から教わった分かりやすく、粘り強い説明を、いずれできる後輩社員にも的確に伝えていけるようにしたいと今から思っています。

訓練が現場作業の基本になる

ハローワークでたまたま出会った建設労働者緊急育成支援事業。この出会いがなければ、今の会社に入ることもなかったでしょう。

1Day
Schedule

林さんの1日



従事している清掃工場の建設現場は他の職種と錯綜しないよう、2時間早く仕事を始めています。朝が早いので渋滞もなくスムーズに出勤できます。朝6時30分から始まる作業は15時30分で終業。17時くらいには帰宅し、すぐに夕食。明日に備えて21時までには寝るようにしています。自分の時間も余裕を持って作ることができ、趣味の電子基板づくりにも没頭することもあります。

ひょっとしたら建設業とは全く別の道に進んでいたかもしれませんが。訓練で習得した技能や資格は現場作業の基本となります。これからこの事業の訓練に参加する人たちには、しっかりと学び、資格を取得することで自分を生かせる職場に就いて活躍してほしいと思っています。

採用企業の声

ITワークス(株) (株)伊藤工業 代表取締役 伊藤 順一氏

林さんは、これまでとは違う環境から建設業に入職し、頑張っています。本人のやる気次第ですが、スキルアップして、とびの仕事で活躍することもできるでしょう。少子高齢化の影響で建設業も人材不足で、女性や外国人も含めた入職を促進し、現場の生産性を高めていくことが不可欠になるでしょう。建設労働者緊急育成支援事業には大きな期待を持っています。入職してくれた人たちの登録基幹技能者となるまで育て、次のリーダーを輩出し、さらに次の世代へとつながっていくようにしたいと考えています。

就職支援！ 企業説明会の開催

高知県拠点
「第9回建設業技能者養成コースin高知」



「第9回建設業技能者養成コースin高知」(6月6日～7月5日)の訓練生を対象に県内建設企業の説明会が行われました。建設技能を学び、各種資格を取得した訓練生たちに待っているのはどんな仕事か。参加企業に話を聞いてきました。



企業説明会 参加企業

高陽開発有限会社

代表取締役

玉木 大祐さん



熱心な語りかけに、真剣に耳を傾ける訓練生。活発な意見が飛び交う

この企業説明会への参加は3回目になります。これまで建設労働者緊急育成支援事業の訓練を経て就職した者が当社に4人在籍しています。

ハローワークに経験者の求人を出していますが、なかなか人材が入ってきません。ならば一から人材を育てるしかない、建設労働者緊急育成支援事業を通じて未経験者に入ってもらおうと考えました。

今は昔ながらの厳しいやり方で人材は育ちません。建設業に興味を持ってもらうためにも、ドローンやICT建機など新しい取り組みにも対応していかなければならないでしょう。3年前からベトナムの技能実習生を受け入れ始めました。寮をつくって働きやすい環境のもと頑張ってもらっています。

祖父から受け継いだ会社を持続していくにあたり、人材不足に対処してさまざまな取り組みを行っています。事務所には、あえて社長室をつくらず、社員の顔を見ながら仕事ができる環境づくりに努めています。アットホームな雰囲気づくりを心掛けており、現場から帰ってきた社員が寂しい思いをしないよう、必ず誰かが迎えるようにしています。せっかく入った人たちが長く勤められる会社づくりを目指しています。

なかには、将来は独立したいという夢を持って入社してくる若者もいます。その思いがかなえられるよう、会社としては全面的にバックアップしていきます。

緊急育成支援事業が本年度で終了するのは本当に残念です。ぜひ継続していただきたいです。



企業側のアピールポイント！

▼▼▼今回行われた企業説明会ではこんなアピールが行われていました。▼▼▼

POINT
1

職場の働きやすさアピール

- 産休、育休、短時間労働を取りやすくして女性が働きやすい職場作りをしています。
- 働き方改革(有給の取得など)に積極的に取り組んでいます。
- 働きながら資格取得が可能です(資格取得費用は会社が負担しています)。

POINT
2

仕事の充実感や熱意の共有

- 土木、港湾、建築の分野で幅広く展開しています。
- チーム一丸となって仕事に取り組んでおり、完成した時の達成感を伝えています。
- 会社経営に関する資料を社員全員と共有し、社員全員が参加する経営を実施しています。

POINT
3

福利厚生・健康管理でバックアップ！

- 福利厚生に力を入れており、年1回の社員旅行を実施、民間の福利厚生クラブにも加盟しています。
- 社員の健康診断についてオプションの診断も会社負担で実施する等社員の健康を気にかけています。



訓練生の言葉

自分の経験不足な面を理解していただいた上で、サポートや教育が充実しており自分を1人前に育てていただける職場に就職したいと考えています。

建設業で定年まで働くことが今の目標です。

日々スキルアップし1人前の仕事ができるまで努力を積み重ねて、大きな仕事が任せられる立場まで成長することです。

Question 1 就職する際に重要視するポイントは？

雇用の安定性や労働環境です。

安全性を重視している企業かどうかで就職先を決めたい。

仕事のやりがいや、職場の雰囲気(上司や先輩との対人関係)。

Question 2 建設業界を目指そうと思ったきっかけ、今後の目標は？

建設業は大きなプロジェクトに携わることができ、夢を感じる職業だと思い目指そうと思いました。

建設業は危険な仕事だと思っていましたが、近年、安全への取組を一生懸命していることがわかり、建設業を目指すこととしました。

株式会社田邊建設



管理部長
谷口 和史さん

当社は国土交通省、林野庁、高知県などが発注する公共工事や民間工事を含め、さまざまな発注者の工事を手掛けています。それだけ勉強する機会も多いです。県が普及に努めるCLT工法のような新しい建築技術に取り組んでいますし、ゼネコンの下請として施工する橋脚などは、技術者の腕の見せ所です。入社した人材はしっかり育てます。やる気さえあれば年齢は関係ありません。各種資格を取得できるこの事業に期待を持っています。

ミタニ建設工業株式会社



CSR対策室次長
廣井 聡文さん

当社は社長が若いこともあり、さまざまなことにスピードを持って取り組む県内でも特色のある建設会社です。複数の女性現場監督が活躍していますし、建設事業を通じた地域貢献にも力を入れています。活動の根本にあるのは、従業員を幸せにするという経営理念です。そのため健康経営に取り組んだり、従業員のキャリアアップにもしっかりと支援しています。また、毎月社長主催で誕生日会を開いたり、従業員間のコミュニケーションも重視しています。

有限会社西山建設



代表取締役
西山 智佐子さん

企業説明会で毎回、いろいろな方とお会いできることが楽しみです。これまで本事業の修了生2名を採用しています。当社は主に県発注の土木工事を手掛けています。社員にスキルアップを図ってほしいと思っており、資格を取りに行くときは出勤扱いとし、資金面の支援も行います。会社が小さい分、コミュニケーションを重視し、介護や病気など個々の事情にも向き合っています。男性も育休を取ってもらいました。いずれ社内に託児所を設け、安心して働けるようにしようと考えています。

企業説明会・合同企業面接会を終えて



(一社)高知県建設業協会
事務局次長
岡崎 倫静さん

高知県での養成コースは今回9回目となりましたが、期待して毎回説明会に参加している企業もあります。担い手不足は全国同様、高知でも課題です。訓練で建設の技能に触れ、現場に必須の資格を取得した人材への期待は高いです。そういった意味でもこの説明会は企業にとっても重要です。実際、過去の訓練を経て就職した人が現場で活躍していると聞いています。各社の希望に沿うような人材をマッチングできるよう心掛けており、訓練の最後には面接会も開催しています。



FOCUS 第55回

最新機材を活用し、好奇心をかきたてる 民間勤め時代の経験が活きた実習を

広島県下で唯一、普通科と工業科を併設した広島県立府中東高等学校。「地域から愛され、支持され、信頼される生徒を育成する」という教育ビジョンを掲げ、地元の各産業に多くの卒業生を輩出しています。目指すは社会ルールやマナーを遵守し、社会で認められる人材育成。民間企業から教員に転身した都市システム科・小笠原雅成先生は、自身の経験から教育現場をどのように感じているのか伺いました。



広島県立府中東高等学校
都市システム科 教諭

小笠原 雅成 先生

徹底したあいさつ・マナー指導で 地元を受け入れられる学校に

昭和36年に広島県北川工業学校として、機械科と土木科を擁し開校した同校。現在のように普通科を併設するようになったのは、同47年からです。工業科と普通科が共にある利点は、普通科の生徒にも「建設」という選択肢を身近に感じてもらえること。将来の選択肢の幅を広げて生徒たちに示せることで、可能性も大きく広がる。それが広島県立府中東高等学校の最大の特徴です。

■ 地元からの信頼を得るために、 先生が注力していることは何ですか？

「あいさつやマナー」の指導を徹底的に行っています。私は教員歴2年目で、本校が最初の赴任校ですが、礼儀についての教育がもっと必要だと感じました。そこでまず導入したのは、前職のコンサ

ルタント会社で行っていた指差呼称・服装点検です。以前から取り組んでいた「おはようございます」「ありがとうございます」「失礼します」「すいませんでした」を推進するオアシス運動と合わせて、実習前に20～30分、全体で訓練を行ってから、各班に分かれて実習をするようにしました。当初は訓練に前向きではない生徒もいましたが、学年が上がる頃には定着。みんな「しっかりしたな」という印象に成長してくれています。他科の先生からも「都市システム科の生徒はよくあいさつができる」という評価を得ています。生徒たちの礼儀正しい様子や、ボランティア同好会の清掃活動などを通して、地域の方にも「期待している」と言ってもらえるようになったのだと思います。

一生懸命に打ち込むことの 素晴らしさを実感させたい！

■ 生徒たちが 建設業界に興味を持つよう、 どのような工夫をしていますか？

建設業の仕事を理解してもらうには、実習が一番だと考えています。私は測量を専門に仕事をしていたこともあり、測量の実習はなんとしても生徒の好奇心をかきたてるものにしたい。そこで昨年取り組んだのは地上図の作成です。グラウンドに座標を取って描いたのはイノシシ。3時間の



200点近い座標を打って作った校章。授業や実習で学んでいない技術を使った作業もあり、完成までに苦労したことも。完成後、校舎から作品を見て、「測量って結構スゴイ!」「頑張ってたやっかいがあった!」と、生徒たちの自信につながった



生徒が案を出し、実習時間に作成。ドローンを使用し真上から撮影したため、キレイに撮影ができた

実習時間を少しオーバーしたのですが、みんなとても積極的で。最後は学校備品のドローンを使い空撮をしました。私は常々、「一生懸命に勉強に取り組んで欲しい。それは高校生だからできることなんだよ」と伝えていますが、この実習はいい経験になったのではないかと思います。

この実習でドローンは、生徒たちの興味をひくいい起爆剤になりました。しかし一方で、最新の機材を教育現場に持ち込む難しさもある。教える側のスキルの課題もありますが、最新機材は「誰でも簡単に作業で



けんぎしゅうぶん
「研技修文」を校訓に、社会に貢献できる人材育成を目指している

きる」ことが開発の主流になっています。生徒たちにとっての実習は、基礎を知り、理解し、考えることを身につける場。教育の肝となる自分で考える力、理解する力をきちんと育むために、教員は適切なバランスを見極める力が必要なのだと感じています。

■ 生徒たちの学びのモチベーションを、どのように引き出していますか？

一生懸命に打ち込める“何か”を作ってあげようと思いました。そこでまず行ったのが、第11回広島県高校生技能オリンピックの出場、さらには全国大会進出を目指した指導です。大会の約半年前に声かけをして有志を募り、放課後に練習。直前になると練習時間が足りず、「休みの日も練習したい」と生徒から積極的に声が上がることも。「一生懸命はカッコ悪い」という風潮がある中で、これは大きな変化だと感じました。広島県は強豪校が多く、残念ながら上の大会への進出は叶いませんでしたが、いい経験になったと思います。

そしてもうひとつ、学校の中で本気になれるものとして放課後に行ったのが、



高校生技能オリンピックの「平板測量の部」に出場。当日はとても暑い日だったが、どの競技でも集中力を切らず、精一杯頑張った



本校では土木以外の職に就く生徒も少なくありませんが、3年生には「府中東高校に通って良かった!」と思えるよう、社会に出てもしっかり頑張ってもらいたい



(左) 広島県職業能力開発協会が実施する「とび」技能検定の様子。



(右) 同協会実施の「左官」技能検定

広島県教育委員会が実施する測量の技能検定に向けた勉強会。年に1度、級認定の賞状が発行されるのですが、これをもらうのがモチベーションになるという生徒がいました。だったら、その環境を整えてあげよう。技能検定は民間のコンサルタント会社から検定員を派遣しないと実施できず、これまで生徒たちは2時間ほどかけて広島市内まで行っていました。そこで前職の上司に相談し、今年は自校開催が可能に。昨年までは2、3名の受検だったのが、今年は10名まで増加しました。頑張っている生徒の姿が刺激になって、科全体に“一生懸命の輪”が広がるといいですね。

卒業生を 業界へ送り出したい!

■ 先生の今後の目標を教えてください。

私の授業で土木・測量に興味を持った教え子に、業界へ就職してほしいですね。そうすれば卒業生をきっかけに企業とパイプができます。業界の現状をいろいろ聞くこともできるし、学校では購入が難しいような機材も生徒に見せよう機会もつくりやすくなり、いい循環ができます。そのためにも、「測量士補の資格を取りたい」など測量関係で頑張りたいという生徒には、私の経験を活かしてサポートをしていきたいと思っています。

建設業界で活躍する方々へ 先生からひとこと!



若手育成をするにあたり、今の若者の特性をよく知っていただければと思います。高校生に限ることではありませんが、最近の若者は「自己肯定」がモチベーションに影響する傾向にあります。たとえば褒められるとやる気を発揮したり。実際は厳しい指摘をしなければならない局面もあると思いますが、しっかりと認めてあげてほしいですね。また、指示は的確にしていきたい。若手はまだまだ考える力や知識、判断力が不足しているものです。だからこそ最初しっかりと説明して、理解を深めてから作業をスタートするようにしていただきたいです。

新しいビジネスモデルへの取り組み 地域銀行の「地域商社化」

みずほ総合研究所 エグゼクティブエコノミスト 高田 創

東京一極集中が続く中、地方創生の観点から、地域の活性化に企業の発想を活用する「地域商社」の役割が重視されている。一方、金融機関は超低金利下で既存の商業銀行モデルによる収益確保が厳しくなっており、地域銀行の新たなビジネスモデルの一つとして、「地域商社化」が考えられる。そこで今回は、地域活性化における地域銀行の関わりなどについて解説する。

「地産外商」で地域活性化

政府は重要政策課題の一つとして地方創生を掲げ、人口急減・超高齢化というわが国が直面する大きな課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することを目指している。そして、「まち・ひと・しごと創生基本方針2017」「地域未来投資促進法」では、「地域商社」が重要な取り組みになっており、2020年までに100社の設立が目標化されている。

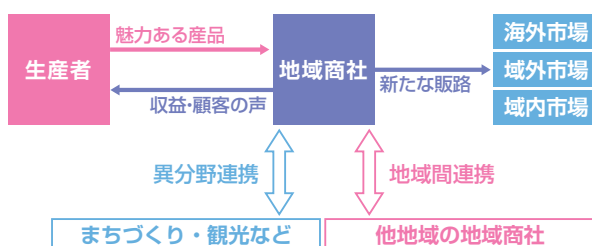
地方では、公共投資や工場誘致といった外からの経済活性化策が限界にきており、今日必要なのは、地域資源を活用した産業を自ら起こし、商品やサービスを域外に販売してもらう「地産外商」である。地域商社の活動は、それを支えるものである(図1)。

地域銀行が地域商社機能を担う

この地域商社に、地域銀行が関連する事例は複数あり(表)、今日、各地域銀行が実業分野に取り組む姿が示されている。企業の稼ぐ当期純利益は、今やバブル期を大きく上回る水準にあり、キャッシュフローを生み出す「川上」には潤沢な資金が溢れているが、収益還元上、貸し手(銀行など)に支払利息として向く金額は限界的だ(図2)。貸出に多くを依存した商業銀行のビジネスモデルは機能しにくく、なかでも、国内での貸出を中心とした預貸業務への依存度合いが高い地域銀行は、苦境に陥りやすくなる。そこで、投資の目利き力を発揮し、有望な事業運営の川上に切り込んで、キャッシュフローの源泉をつかむ、商社的な対応の実現が問われている。その具体例が地域銀行の「地域商社化」といえる。地域企業の収益が増加しても、その恩恵が地域銀行に向かわないなか、地域銀行が地域の産業と一体になる地域商社を設立して、実業の収益を確保するビジネスモデルである。

なお、地域銀行が地域商社を設立する場合、銀行に課されている出資規制の緩和も重要な課題である。また、昨今では、銀行もスタートアップ段階への融資も含めた対応を行って、将来性のある企業の発掘を担う動きが生じている点も、注目される。

図1 地域商社の活動の概況



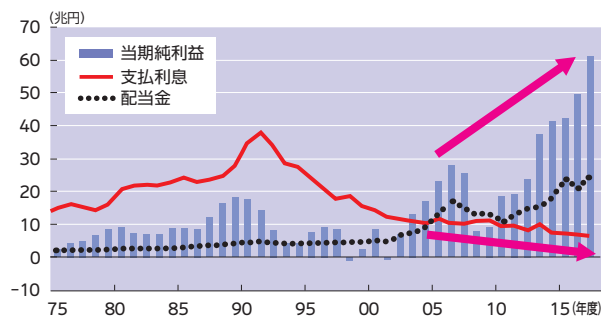
(資料)まち・ひと・しごと創生本部「プロフェッショナル人材事業等について:モデル的な事業に関する参考資料」(地方創生に関する都道府県・指定都市担当課長説明会、2017年)よりみずほ総合研究所作成

表 地域銀行が関連する地域商社の事例

名称	地域銀行	概要
ブリッジにいがた	第四北越フィナンシャルグループ	新潟と東京を繋ぎ商品を海外に販売する架け橋機能。観光振興では県やJR東日本と連携。
地域商社やまぐち	山口フィナンシャルグループ	山口銀行が山口県と結んだ地域創生の連携協定に基づく。PBブランドの販売も。
地域商社とっとり	山陰合同銀行、鳥取銀行、鳥取信用金庫	鳥取県の自治体と地域銀行によって設立された地域商社。
北海道総合商事	北海道銀行	地元産品の商流と物流ルートを拡大し輸出に向けた支援を行うために設立された地域商社。
OKBブランド	大垣共立銀行	大垣共立銀行がOKBブランドを用いて事業の立ち上げ、地元のプロデューサーとして地域創生。
農業法人春一番	鹿児島銀行	鹿児島銀行が農業法人を立ち上げ投資するだけでなく、人材を派遣し経営にあたる。

(資料)各種公表資料より、みずほ総合研究所作成

図2 企業業績と投資家への収益還元



(資料)財務総合政策研究所「法人企業統計」より、みずほ総合研究所作成

2019年度の自治体予算

公共投資額が4年ぶりに好転

日経コンストラクション編集長 浅野 祐一

公共事業などに充てる投資的経費。2019年度の都道府県予算では、4年ぶりの増加となった。予算増をけん引した一因は、自然災害からの復旧や激甚化している災害への対応といった復旧・防災関連の事業だ。東京五輪や大阪・関西万博といった大型イベントも、自治体によるインフラ整備の推進を後押ししている。

自治体の歳出のうち、投資的経費とはインフラ整備といった公共事業に充当する費目だ。普通建設事業費や災害復旧事業費などから成る。都道府県の2019年度予算を分析すると、この投資的経費が4年ぶりに増加に転じていた。知事選などの影響で骨格予算や暫定予算を組んだ11道県を除く36都府県の投資的経費の合計額は、6兆7570億円に達した。前年比で11.1%増加しており、36都府県のうち、31の自治体が前年度よりも投資的経費を増やしていた。

地震や風水害への対策に投資 18年に被災しなかったエリアでも活発に

投資的経費の増加に結び付いた一因は、災害の復旧や防災・減災に対する取り組みが広がった点にある。2018年は西日本豪雨や台風21号といった風水害、北海道胆振東部地震といった震災が相次いだ。

投資的経費の前年との増減率を見ると、最も増えたのが84%増の広島県、これに次いだのが53.1%増の岡山県だった。いずれも、西日本豪雨で甚大な被害を受けた自治体だ。広島県では、被災を免れた地域でも防災・減災対策に注力する考えだ。北海道では、北海道胆振東部地震で被災した耕地や林道、治山施設などの復旧事業として154億円を計上している。

このほか、大阪府では建設から約半世紀を経た三大水門を更新して、津波や高潮に対応できるようにする。19年度は一部の水門の詳細設計を実施する予定だ。ハードだけでなく、ソフト面での対策に注力する自治体もある。千葉県は、地震計から得られたデータから人的被害を推定するシステムの高度化を図る事業を進める。液状化被害や帰宅困難者などの予測を可能にする。

五輪や万博に伴う事業を計画 インバウンドを狙った取り組みも

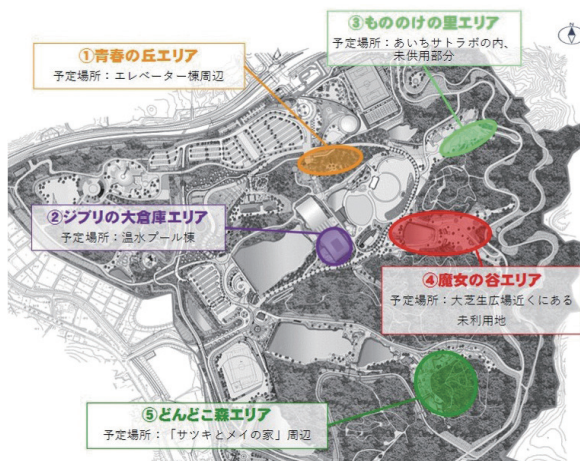
今後、日本国内では国際的な大型イベントが続く。19年のラグビーワールドカップ、20年の東京五輪・パラリンピック、25年の大阪・関西万博などは代表例だ。こうした大型イベントに伴って自治体で進めるインフラ整備も少なくない。

例えば、東京都は19年度予算で競技施設などの整備に加え、ヒートアイランドの抑制に向けた遮熱性・保水性舗装の整備も行う。暑さ対策の事業だけで214億円を計上している。神奈川県では、東京五輪を見据えた幹線道路整備に160億円強を投じる予定だ。

インバウンド対策も自治体が力を入れる事業だ。愛知県はスタジオジブリと合意した「ジブリパーク」の22年開業に向け、施設の設計などを進める。そのための費用として、9億6413万円を見込んでいる。05年の愛知万博の会場を活用する。大阪府では、特定複合観光施設区域（IR）の誘致を実現するために、IR事業者の公募や区域認定申請に向けた整備計画の策定などを進めていく方針だ。予算は前年度の約4倍の3億1814万円に拡充した。



大阪府が更新を進める予定の三大水門の1つ「木津川水門」(写真:大阪府)



愛知万博の会場に建設予定の「ジブリパーク」のテーマエリア(資料:愛知県)

働いて楽しい職場環境をつくる
コミュニケーション

働いて楽しい建設産業の職場環境を作るには、男女はもとより、高齢者から若者まで全社員の楽しいコミュニケーションが役立ちます。また、人は集団の中で認められたい気持ちがあります。その充足は働く喜びを見つける入り口となります。

実施計画検討会

方針の明確化



賢説課長

前回に予告したように、「働いて楽しい職場環境づくりのコミュニケーションの実践方法」について、今回は検討しましょう。

40代以上の先輩は、人数も多く比較的まとまっている感じがするのですが。



袋小路君



勤怠さん

若年層とのコミュニケーションが少ない気がしますから、気軽に話せる雰囲気作りから始めませんか？

問題の抽出

若手で集まった時に、上司や先輩と話す時に何が話しにくい、聞いたことがあるんです。



袋小路君

工事は、管理職が積極的に話しかけているから、話しにくいことはないだろう。「若い者に覇気がないだけ」だと思うよ。



超勤課長

でも、「先輩が怖い、聞きづらい、説教が多い、上下の言葉づかいに厳しい」など、話しにくいと感じる社員が多かったですよ。



袋小路君

それでは取ってつけたように、急に話しかけてと言っても長続きしませんよね！



勤怠さん

そうだね。若い社員が先輩や上司と話をする時に感じる壁を低くすることは、「組織目標の達成の中に、個人の働く喜びがある」という考え方の基礎になるね。



賢説課長

若い社員が、先輩方に話しやすい雰囲気づくりができれば、やる気が出るかも・・・。



勤怠さん

Pick Up1

それって、「マネジリアル・グリッド」に通じる話ですよ。



賢説課長

問題解決・実践方法



超勤課長

袋小路君は、この図で見ると「社交クラブ型」だね。業績への関心が少ないからね。



袋小路君

そ、そんな～！ひどいですよ！



超勤課長

石頭部長は「仕事志向型」だよ。賢説課長は「チーム・マネジメント型」かな？

いいや、私などは、まだ「妥協型」ですよ。でも、各管理職が「チーム・マネジメント型」を目指すことが大切ですね。



賢説課長

それでは、コミュニケーションの改善では、朝の「おはよう+何かひとこと付け加える」という声掛け活動はどうですか？



勤怠さん

Pick Up2

いいね！「自分の存在を人間として、しっかり認めていてくれる」という気持ちは、働く喜びの基礎になるからね。



賢説課長

そういう活動を実際に行って、状況を職場単位で確認合っていきましょう。



勤怠さん

検討会のポイント

それでは、会社で自由に意見を言いやすい社風を創る「コミュニケーション改善」をしましょう。その第一歩として、若い社員を含めた実践ワーキンググループを作って、勤怠さんと袋小路君に各部署の実践状態をまとめてもらいましょう。



賢説課長

今月デートできるかな・・・トホホ。



袋小路君

次回検討会の議題

今まで検討した施策を経営計画書に反映したいと社長から指示がありました。そこで、次回は「新しい経営計画」について検討しましょう。なお、社長も出席します。



賢説課長



原案
作成

手島 伸夫

一部上場建設会社に34年勤務して、社長室次長、ISO品質保証システム部長を歴任。中小企業診断士、社会保険労務士、1級土木施工管理技士



廣津 栄三郎

一部上場建設会社で技術営業部長や関連会社の社長を歴任後、複数の海外企業にてコンサルティングを行う。技術士、測量士、工学博士



スクリ
プト

本シリーズは中小建設産業の働き方改革を成功に導くための「職場改善と労働条件の改善」、「若い人材の確保と定着」、「生産性の向上」の具体的施策を全5回で紹介します。大都市の郊外にある老舗建設株式会社(従業員

約50名)を舞台として、従業員がイキイキと楽しく働いて、若い人材の定着と生産性の向上を図る経営力強化の方向性を従業員の会話方式をベースに説明します。

老舗建設
人物紹介

賢説 真面目

事務課長



40歳で、経理・総務のベテラン。袋小路君と良いコンビ。趣味は落語を聞くこととサッカー観戦。

超勤 和夫

工事部課長



40歳。几帳面な工事課長。袋小路君の天敵。神経質で顔に皺を常に浮かせて、せかせかと歩く。趣味は川釣り。

袋小路 カイト

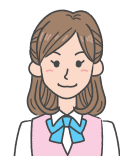
事務課員



25歳。時々ボカをするが、仕事熱心。超勤課長が大の苦手。楽しみは彼女とのデート。

勤怠 みはる

事務課員



28歳で、入社10年。実務に詳しい。石頭工事部長にもズバズバものを言う明るい性格。みんなのアイドルである。

Pick Up1

チーム・マネジメントと「働く喜び」

ブレイクとムートンによって提唱されたリーダーシップ行動論は、マネジメントの指導タイプを図のよう分類しています。これを職場環境と合わせて考察してみましょう。

1・1型 は活気のない職場環境です。

1・9型 は友好的な職場環境ですが、「仕事の中に喜びがある」という視点が抜けています。

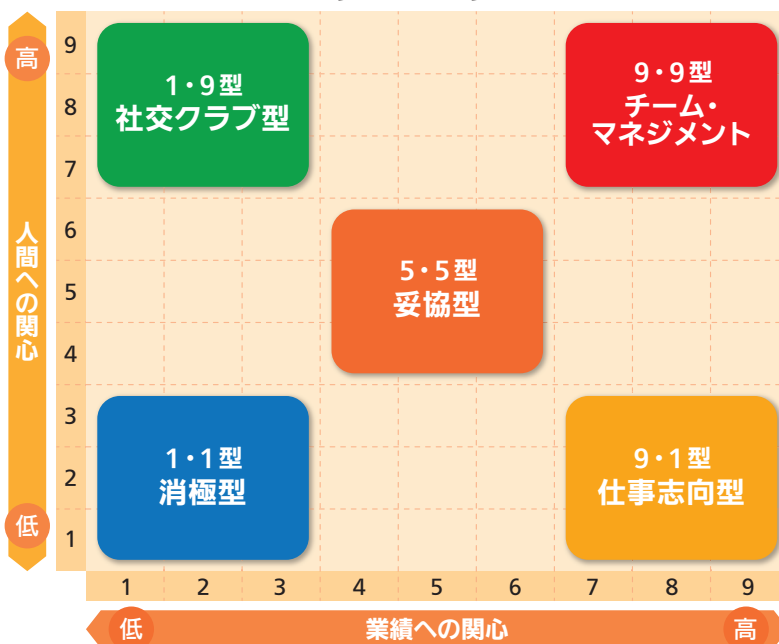
9・1型 は部下が心から働けない職場環境です。

5・5型 は現状維持志向です。

9・9型(チーム・マネジメント) は理想型で、若い社員でも組織目標を理解して、問題解決に向かって意見を言える職場を作ります。それは「働く中に喜びがある」という行動科学の考え方に沿うものです。

ただし、このマネジリアル・グリッドの利用法は、管理者の行動を「1・1型から9・9型」までのタイプのレッテルを貼ることではありません。管理者の指導法(リーダーシップ)は、理想型に変えられることを「管理者自身を知る」ことこそ、大切なのです。

マネジリアル・グリッド



Pick Up2

部下に対する指導方法

「会社は君に期待している」「会社に貢献できるような存在になると信じている」など「相手のことを承認する」話し方が大切です。その上で、注意をする場合は、具体的に「書類を作成するときは、この〇〇を参考にとすると良いよ」「△△とい

う言い方が、社会人としてのマナーに則り、相手に伝わるよ」という調子で、分かりやすく、個々の状況に合わせた指導方法を行うべきです。



第23回

木製トラスの大吊橋は 電力王の夢の跡

つりばし
つまご みとの
妻籠と三留野、中山道の二つの宿場町を抱える長野県の南木曽町。
ここに、木曽川の水力発電開発を主導した電力王・福沢桃介が自らの
名をつけた「桃介橋」がある。発電所建設の資材を運ぶトロッキ軌道
を渡すために架けられた橋だ。日本の産業発展には水力発電しか
ないと信じた桃介の情熱と夢の跡をたどる。

ももすけ
桃介橋
長野県木曽郡南木曽町

Photo・Text：フリーライター 三上 美絵

大成建設広報部勤務を経てフリーライターとなる。「日経コンストラクション」（日経 BP 社）や土木学会誌などの建設系雑誌を中心に記事を執筆。広報研修講師、社内報コンペティション審査員。著書『土木の広報〜『対話』でよみがえる誇りとやりがい〜』（日経 BP 社刊、共著）



うだるような午後、JR南木曽駅に降り立った。木曽川沿いを少し歩くと、遮るものもなく日差しを浴びる大きな吊橋が見える。1922年（大正11年）、木曽川に架けられた桃介橋だ。

吊橋は、塔の上に張り渡したケーブルで桁を吊り下げる構造なので、桁が変形しないようにながっちり硬くつくる必要がある。吊橋の桁が「補剛桁」と呼ばれるのはこのためだ。桃介橋の形式は、木材をトラス状に組んで桁の剛性を高めた「木製補剛吊橋」だ。

全長は247m。日本に現存するこのタ

イプの橋では最も長く、そして古い。主塔は上部がコンクリート製、下部が石積み。アーチ型にくり抜いた主塔と木製トラスの桁の組み合わせがシックだ。主塔から伸びたケーブルが優美な曲線を描いている。

自らの名前を冠した 発電所建設用の橋

「桃介橋」という名前は、なんだかちょっとかわいらしい。おとぎ話にでも出てきそう。名付けたのは、鬼才と呼ばれ、「電力王」として知られる福沢桃介。自分の名をそのまま付けるのはさすがに少しはばかられたのか、当初は「桃之橋」と言っていたのが、いつしか桃介橋と呼ばれるようになったという。

桃介が生まれたのは1868年（明治元年）。幼少の頃から神童と呼ばれ、慶應義塾へ進学した。長身で、今でいう大変なイケメンだったこともあって、福沢諭吉の娘婿としてスカウトされた桃介は、アメリカ留学を条件としてこの話を承諾。帰国後に諭吉の次女ふさと結婚した。

その後、肺結核の療養中に株式投資で儲けた金を元手に、会社勤めを辞めて実業界へ転身。電力会社を

設立し、木曽川の水力開発に乗り出した。1919年（大正8年）に竣工した賤母発電所を皮切りに、4年間に大桑、須原、桃山の4発電所を建設。そのつど、木曽川に資材運搬用の橋を架け、会社の幹部や功労者の名前を付けていった。

こうした一連の発電所建設の集大成となったのが、約4万kWの発電能力をもち、関西地方まで200km以上の長距離送電を行う読書発電所だ。桃介はこの発電所のための橋に、満を持して自分の名を付けたのだった。

原物保存が慎重に議論され 往時の姿が蘇る

発電所工事が終わった後、桃介橋は現在の南木曽町に移管され、生活橋として使われた。しかし、桁を押さえるワイヤーが洪水によって切れ、1978年以降は通行禁止になったまま荒れ果てていた。

町は92年、日本の水力発電の歴史を物語る桃介橋を文化財として修復・復元することを決定。特別委員会による綿密な調査を踏まえて、その方法を検討した。

桃介橋は、中央の主塔に中洲へ下りる階段が設置されていることが大きな特徴だ。見た目はドボかわいい階段だが、そこへの開口部を主塔の側面に設けたことが、構造上の弱点になっていた。

現在の設計基準に合わせて主塔を補強



◀桃介橋の主塔と木製補剛桁（トラス）。主塔はアーチ型のくり抜きが重なるドボかわいいデザイン。



▲ 3本のうち中央の主塔(画面では左側)には中洲へ下りる階段が付いている。主塔の側面にこのための開口部を設けたことが、構造上の弱点になってしまったという。そうだとっても、橋の真ん中から階段を下りて行けるのは楽しい。

するか、あるいは通行できる人数を制限するか。検討の結果、文化財としての「原物保存」の観点から、人数制限の案が採用された。

また、主ケーブルは内部まで腐食が進行していたことから、安全上、すべて新しいものに取り替えることになった。ここでも原物保存が議論されたが、ケーブルを取り替えることで、固定するアンカーや主塔頂部のサドルなどのパーツはそのまま利用でき、全体としてより原型が遺せると判断された。

こうして93年に修復・復元工事を終えた桃介橋は、翌年に国の重要文化財に指定され、今も往時の威容を保っている。

桃介の事業を支えた パートナー、マダム貞奴

木曽川に全部で7カ所の水力発電所を築いた福沢桃介。この大事業を心身ともに支えたのが、日本人初的女優「マダム貞奴」としてヨーロッパにも名を馳せた川上貞だった。オッペケペー節で人気を博した夫・川上音二郎と死別した後、旧知の桃介



▲ 桃介が貞と暮らした大洞荘。現在は福沢桃介記念館として公開されている。

に請われて行動を共にした。

二人は桃介橋の近くに別荘「大洞荘」^{おおぼら}を建てて一緒に暮らし、ここを拠点にして発電所の建設現場へ足繁く通ったという。工事関係の要人の応接には、芸者出身の貞が采配を振った。桃介はこの別荘の窓から、桃介橋や読書発電所を眺めるのが好きだったという。

事業完遂後、貞は桃介をふさ夫人のもとへ帰らせたが、ふさは夫を許さなかった。同じ敷地の別棟で寂しく最期を迎えた桃介、享年70歳。桃介橋は、日本の水力開発の記念碑であると同時に、稀代の電力王の夢の跡でもある。



▲ 橋の床版には一部、創建当時のトロッキ軌道が保存されている。



▲ 福沢桃介のレリーフ。桃介は才能とともに眉目秀麗なことで有名だった。

アクセス

JR 中央本線南木曽駅から徒歩約5分。車の場合、中津川ICから30分、妻籠宿から5分程度。

しんこう TODAY

S H I N K O U T O D A Y

「CSPI-EXPO第2回建設・測量生産性向上展」にて、 「建設キャリアアップシステムについて」のセミナーとブース出展を実施



セミナー前半では、国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課の担当官（堀口岳史建設市場整備企画官、労働資材対策室宇賀山剛専門調査官）から、「60才以上の技能労働者が約83万人なのに対し、20代の技能労働者が36.5万人と高齢化が顕著な建設業界は担い手の確保が急務であり、建設キャリアアップシステムは、日々現場で腕を磨く技能労働者の技術力をきちんと評価し、処遇改善に繋げることで、建設技能労働者の

確保を図り、建設産業全体の活性化に繋げる施策であること。また、そのために、技能者と事業者が共に登録を進め、業界全体でシステムの活用を図っていく必要がある」と説明がありました。

セミナー後半では、本財団建設キャリアアップシステム事業本部の東真生普及促進部長が、本運用開始（2019/4/1）に先駆け行なった限定運用（2019/1月～3月）において、様々な条件下におかれる24現場を選定

し、インターネット環境やシステムのトラブル対応等を検証した模様と、デモンストレーションとして就業履歴登録アプリケーション「建レコ」の紹介を行いました。

また、今後、建設現場で既に稼働している民間の入退場管理システムや建設業退職金共済制度とのシステム連携を積極的に展開し、建設キャリアアップシステムのメリットを向上させていく等の説明を行いました。



「建レコ」体験ブースでは、アプリを実際に体験も

就業履歴登録アプリケーション「建レコ」とカードリーダーの体験ができるブースにも、多くの人が集まりました。「カードリーダーの設置場所に困っている」「技能者たちのカード読み取り忘れが多い」など、導入の際の課題や問題についての質問には、屋外設置の際の雨・盗難対策や、確実なカードの読み取りを促すためのポスター掲示の必要性などを回答。担当者は、「まずは技能者、事業者双方の登録が浸透することが大切。技能者たちの就業履歴が蓄積される当システムが行き渡ったら、ゆくゆくは技能者たちの職務経歴書としても活用できるなど可能性がさらに広がる」と力説しました。

※「CSPI-EXPO第2回建設・測量生産性向上展」3日間の来場者数は38,919人



工事現場に動物が…現る!



建築工事現場に実物サイズのシロクマ、キリン、ゾウ、ライオンのパネルを取り付けた仮囲いが登場。除幕式に参加した幼稚園児も大喜び。

長野県中野市に新築工事中の八十二銀行中野支店の工事現場（中野土建）において、「仮囲いアイデアコンテスト」（全国建設業協同組合連合会主催）優秀賞作品「チーム・ナスパティ（群馬日建工科専門学校）」の作品が採用され、5月16日（木）に除幕式が行われました。



喜びを語るチーム・ナスパティの3名と山田副校長



作品を考えていく中で、アイデアを形にするのが難しいと感じることもありましたが、実際に仮囲いにして頂いたことで、努力が報われた気がします。

この仮囲いは、子ども達が建設業に興味を持つきっかけになればという思いで考えました。地元の皆さんに親しんで貰えると嬉しいです。



祝辞（一財）建設業振興基金 理事長 佐々木 基

子供の頃は建設現場の仮囲いの中がどうなっているのか、とても興味を示します。そのような気持ちを持ち続けたまま、この業界に入職してもらうには、チーム・ナスパティの作品のようなワクワク感がある建設現場にする事が必要だと思います。

これをインターフェースとして、今後も「ワクワク」・「ドキドキ」が仮囲いの外でも中でも感じられる建設現場が増えていくことを期待しています。

「見せる工事現場」を実現に導いた 中野土建（株） 蔵谷 伸一社長



コンテストの開催にあたり、学生の皆さんが考えたアイデアを形にすることが大切だと考えていました。今回、採用したチーム・ナスパティの作品は、机上の理論ではなく、実現性が高いところが大変素晴らしいです。子ども達に「ゾウさんの銀行、キリンさんの銀行」と呼んでもらい、親しみを持ってもらえることも嬉しいです。



PROFESSIONAL

正か誤しかない“電気”は正直モノ。
間違いの正解を探すことさえも楽しい!

登録電気工事基幹技能者

株式会社関電工

かわしま ひろゆき

川島 博幸さん

1974年8月生まれ 東京都出身

高校時代、繋げた回路で明かりが灯ることに興味をもち、夏休みの期間だけサッカー部と掛け持ちをして「電気工事士部」に入部したという川島博幸さん。電気工事士は国家資格。難しくはあるが、照明が点いた瞬間の達成感が楽しく、電気の世界にのめりこんだ。

学生時代に資格を勉強しているときは、電線をつなげばすぐに照明が点灯した。しかし、実際の建築現場はそうではなかった。さまざまな職方と現場を調整しながら各所に電気配線工事を施し半年、1年をかけてようやく電気を送ることができる。「入社当初はそのギャップに驚きましたが、その反面、新築現場の基礎工事から竣工までを見届けられ、そこで灯る明かりを最初に見られるのは面白い。これは私たち電気工事士の特権です」と誇らしげだ。また、完成した建物に明かりが灯ると、雰囲気さがらりと変わる。

「無事に点灯した時は感動します。マニアックなんですけど、電気を送電した時に聞こえる音も好きで(笑)。電圧を変える変圧器という機器に電圧が印加された時、ブーンと唸るような音が響くんです。あの音が心地よくて」と目を細める。また、「電気は正直ですから、配線が間違っていれば点灯しません。一発で送電出来た時はもちろんうれしいですが、確認で不具合があった時に正解を探して、きちんと直すことができた瞬間は更にうれしいです」と、とめどなく電気の魅力を語る姿に“電気愛”があふれる。

関電工一筋26年、キャリアを重ねた中で川島さんは、日本を象徴する高層建築や放送施設などに携わった。志の高い人々と現場を共にすることはもちろん、建造物のバックヤードをつくる面白さは格別な魅力があった。6年前に「登録電気工事基幹技能者」の資格を取

得ると、安全・工程・品質・コストの管理、他職の職人とのコミュニケーションなどあらゆることに意識が向き、更に責任感が芽生えた。電気は目に見えるものではなく、一步間違えれば火災などの事故の原因になりかねない。「だからこそ我々の仕事には国家資格が必要であり、安全を管理するための視点とコミュニケーションが重要なんです」と表情を引き締める。

これまでの経験を活かし、「日本一高い場所に電気を送る仕事がしたい」と次なる現場への夢を語る川島さん。「高さのある建物というのは、電力ケーブルを上へ引っ張る必要があります。高ければ高いほど、より綿密な設計と施工技術が求められる。難しいですが、どう工事を進めていくか考えるのはやはり楽しいです。ぜひ挑戦したいですね」と語るその表情は、希望に満ちていた。

登録基幹技能者

熟達した作業能力と豊富な知識と経験を有し効率的に作業を進めるマネジメント能力を備えた技能者です。現場では上級職長などとして活躍しています。